

拍の流れにのろう

指導者：一井 陽子

児童：4年2組 36名

1 題材について

(1) 指導内容

- A表現 (1) **イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。**
ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。
- B鑑賞 (1) **ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。**
イ 音楽を形づくっている要素のかかり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。
ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。
- [共通事項] (1) **ア (ア) 音楽を形づくっている要素・・・リズム、拍の流れ、旋律、強弱**
イ 音符・休符・記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること・・・・・・・・・・・・・8分の6拍子

(2) 題材について

本題材では、初めて出合う8分の6拍子のゆったりとした心地よいリズムや4拍子の生き生きとしたリズムの特徴を聴き取ったり感じ取ったりしながら歌うことにより、拍の流れにのって歌う心地よさを味わうことができるようにしていきたい。拍子を聴き取ったり感じ取ったりするために、指揮のまねをしたり、体を拍子に合わせて動かす活動を行っていく。

「風のメロディ」の学習では、初めて出合う複合拍子の8分の6拍子のリズムを大きく2拍子ととらえて歌っていく。2拍子の心地よくゆれるリズムを感じ取りながら、これまでの学習で学んできた旋律の特徴や動き、変化と拍子をかかわらせ、指揮の仕方の変化を生かして強弱を工夫できるようにしていきたい。

また、組曲「ペールギュント」より「朝の気分」の鑑賞では、「風のメロディ」で学習した8分の6拍子の拍子感を活かし、指揮をしたり体を動かしたりしながら聴く。その際、「風のメロディ」で学習した8分の6拍子の指揮の仕方の変化を生かしながら、旋律の動きと強弱の変化をかかわらせて感じ取っていくことができるようにする。また、「ペールギュント」の物語のあらすじを知り、場面の様子を想像し、イメージを膨らませながら聴いたりすることができるようにする。

「友達シンドラム」の学習では、シンコペーションや8分休符、跳躍進行を多用した軽快で躍動感あふれる旋律を、4拍子のリズムにのって生き生きと歌えるようにしたい。その際、曲想を感じ取った4拍子の指揮を取り上げ、曲想の変化や強弱の変化とかかわらせて感じ取ることができるようにしていきたい。さらに歌詞から情景を豊かに想像し、曲想と結び付けて表現に生かしていきたい。

また、各教材で比較聴取の活動を取り入れ、それぞれの拍子の特徴やよさ、曲想の変化や強弱の変化などについて気付いたり味わったりしていけるようにしていきたい。そして、そのよさを表現に生かし自分の思いや意図をもって表現したり聴いたりできるようにしていきたい。

(3) 児童について

子どもたちはこれまで、各教材で拍の流れにのったり拍子にのったりする学習を繰り返し経験している。4年生の「子どもの世界」の学習では、体を動かしたり指揮の真似をしたりしながら拍の流れにのったり2拍子のリズムにのったりして歌う学習を行った。またア(前半)とイ(後半)の旋律の感じが変化することをとらえ、同じ2拍子でも、アははずむように指揮をしたり身体表現したりし、イは流れるようになめらかに指揮をしたり身体表現したりするなど、曲想の変化をとらえながら2拍子のリズムを感じ取って歌う学習を行ってきた。

「あわてんぼうの歌」の学習でも旋律の動きを感じ取りながら、「子どもの世界」と同様に2拍子のリズムにのって歌う学習を行っている。

「歌のにじ」の学習では、旋律の特徴や変化をとらえながら歌う学習を行った。

子どもたちは、全体の曲想をなめらかなゆったりした曲想をとらえるとともに、3フレーズ目の曲の山で空に大きな虹をかけるイメージをもちながら、旋律の動きとともに強弱が変化する学習を行った。

そこで、本題材では、これまでの学習を活用しながら、初めて出合う8分の6拍子のリズムを感じ取り、

拍子にのるだけでなく、旋律の動きから変化する強弱を工夫して歌う学習を展開し、自分たちの思いや意図をもって表現に生かすことができるようにしていきたい。

(4) 研究とのかかわり

本題材では、「音楽のよさを感じ取りながら思いをもって聴き、表現する子どもの育成」を目指し、8分の6拍子や4分の4拍子の拍子感と旋律の動きをかかわらせ、それを表現に生かし、自分の思いや願いをもった表現の工夫をしていく。その際、既習曲から2拍子や4拍子を活用し、拍子の違いによる曲想の違いを比較する活動により新しく学習する8分の6拍子の拍子感を感じ取っていく。また、既習曲から同じ拍子でも旋律の動きや曲想の変化によって、指揮の仕方が変化していたことについて想起し、そのことを活用して、拍子感と旋律の動きをかかわらせて強弱の工夫ができるようにしていく。

その手立てとして、指揮のまねをする活動等を取り入れる。指揮の動きを比較したり指揮に込められた思いを話したりする活動をしながら、それらを楽譜で視覚的に確かめる中で音楽を形づくっている要素（旋律の動き）に気付き、それらを生かした表現を音や音楽で試したりしていく。このように、拍子感と旋律のかかわりによる強弱変化について2拍子や4拍子、旋律の動きなどの既習事項を活用しながら言葉で共有するとともに、音や音楽で感じ取ったり確かめたりして共有する活動をする。そのなかで、それらを生かした表現の面白さやよさを感じ取っていく。

このような活動を、子どもたち同士が、互いの考えを自分との表現の違いや共通点も含めよく理解しようとしながらかかわりあい、より魅力的な表現をつくりあげ、自分の思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりすることができるまで高め合っていくことが音楽科における協働と考える。

2 題材の目標

拍の流れにのり拍子を感じ取りながら、旋律の動きを生かして強弱の表現を工夫したり、それらを感じ取って歌ったり聴いたりする。

3 教材

- A 風のメロディー
- B 「朝の気分」(パールギュント第1組曲から) グリーグ作曲
- C 「友だちシンドバッド」

4 題材の評価規準

観点	観点1 音楽への関心・意欲・ 態度	観点2 音楽表現の創意工夫	観点3 音楽表現の技能	観点4 鑑賞の能力
題材の評価規準	① 拍子の違いによる曲想の違いや特徴に関心をもち、拍子や拍の流れにのったり、旋律の動きによって生まれる強弱の変化を生かしたりしながら意欲的に歌おうとしている。 ② 指揮のまねをしたり手や体を動かしたりしながら拍子や旋律の動きによる強弱の変化に関心をもちながら聴こうとしている。	① 8分の6拍子の特徴と旋律の動きをかかわらせて、強弱の表現を工夫し、自分の思いや意図をもっている。 ② 4分の4拍子の特徴と旋律の動きやリズムの特徴をかかわらせて、強弱の表現などの歌い方を工夫し、自分の思いや意図をもっている。	① 8分の6拍子の特徴を感じ取り、やわらかい発声で歌っている。 ② 4分の4拍子の特徴と旋律の動きや、リズムの特徴を感じ取り、曲想に合った歌い方で歌っている。	① 拍子が生み出す曲想を感じ取ったり、旋律の動きによって生まれる強弱の変化を感じ取ったりしながら、そのよさを感じ取って聴いている。

5 指導と評価の計画（7時間扱い）

時	学 習 活 動	題材の評価規準	教 材 曲
第1次	ねらい 6拍子の流れにのって歌ったり聴いたりする。		
1	<p>1 「風のメロディ」の旋律を覚えて歌う。</p> <p>① 範唱を聴き、曲想を感じ取ったり、気付いたことを発表したりする。</p> <p>② 歌詞を読みイメージを膨らませる。</p> <p>③ 模唱する。</p> <p>2 8分の6拍子を感じ取って歌う。</p> <p>① 8分の6拍子について知る。</p> <p>・ 何拍子の曲かを考える。</p> <p style="text-align: center;">●○○○●○○ 6拍子</p> <p>② 8分の6拍子のリズムを感じ取って歌う。</p>	<p>観点1—①</p> <p>観点3—①</p>	「風のメロディ」
2 (本時)	<p>1 「風のメロディ」を、8分の6拍子の拍を感じ取りながら旋律の動きを生かして、強弱の工夫をする。</p> <p>① 8分の6拍子について想起する。</p> <p>② 指揮をしながら歌う。</p> <p>③ 旋律の動きと拍子をかかわらせ強弱を工夫する。</p> <p>2 8分の6拍子にのりながら、強弱の工夫を生かして歌う。</p>	観点2—①	「風のメロディ」
3	<p>1 「朝の気分」の場面の様子を想像しながら聴き、感じたことを話し合う。</p> <p>① タイトルを教えずに曲を聴き、気付いたことや感想をカードにまとめる。</p> <p>② タイトルと物語のあらすじと組曲について知る。</p> <p>③ 何拍子の曲かを考える。</p> <p>④ 「朝の気分」の主な旋律に着目しながら、「風のメロディ」の学習を活用し、大きく二つ振りて8分の6拍子の指揮をしたり、身体表現をしたりしながら聴く。</p> <p>⑤ 場面の様子を想像しながら「朝の気分」をもう一度聴き、感想を発表し合う。</p>	<p>観点1—②</p> <p>観点4—①</p>	「朝の気分」
第2次	ねらい 4拍子の流れにのって歌う。		
4	<p>1 「友達シンドバッド」の旋律を覚えて歌う。</p> <p>① 範唱を聴く。</p> <p>② 歌詞を読み、アラビアンナイトについてふれながら想像を膨らませる。</p> <p>③ 模唱する。</p> <p>2 4拍子のリズムにのって歌う。</p> <p>① 何拍子の曲かを考える。</p> <p>② 4拍子のリズムにのって歌う。</p>	<p>観点1—②</p> <p>観点3—②</p>	「友達シンドバッド」
5	<p>1 4拍子のリズムにのり、歌詞やリズム、旋律の動きを生かして「友達シンドバッド」の歌い方を工夫する。</p> <p>① 歌詞やリズム、旋律の動きから歌い方を考える。</p> <p>② 4拍子にのって歌う。</p> <p>2 4拍子のリズムにのり、工夫した歌い方で「友達シンドバッド」を歌う。</p> <p>① 自分が工夫した指揮で歌う。</p> <p>② 代表者の指揮に合わせて歌う。</p>	観点2—②	「友達シンドバッド」

6 本時の指導（第2時）

（1）教材と子ども

① 教材について

本教材は、8分の6拍子を生かしゆったりとしたやわらかい表情をもつ旋律の曲となっている。8分の6拍子を2拍子のように感じて、2つ振りで指揮のまねをしたり手や体を動かしたりすることで拍子や拍の流れを感じ取ることができる。また、歌詞が風を題材にしていることから、やさしい風や心地よい風をイメージしながら8分の6拍子を感じ取ることができる。曲はa 8 + a' 8の一部形式で後半の変化する部分が曲の山となっている。

② 子どもについて

子どもたちは1・2年生で拍の流れを感じ取ったり体を動かしたりしながら拍子を感じ取る学習を行ってきた。3年生では、指揮のまねをしたり、体を動かしたり手拍子をしたりしながら、拍の流れや拍子を感じ取る学習をくり返し行っている。また、楽譜から階名を読むことで同じ旋律を見つけたり、演奏の聴取から旋律やリズムの特徴から生まれる曲想の変化を感じ取ったりする学習を行っている。

4年生の「子どもの世界」の学習では、2拍子のリズムにのって指揮の真似をしたり、身体表現したりしながら歌ったり、前半と後半の曲の気分の変化に合わせて指揮のまねなど身体表現の仕方を変えて歌う学習を行った。「あわてんぼうのうた」でも旋律の動きを感じ取りながら、同様に2拍子のリズムにのって歌う学習を行っている。「歌のにじ」の学習では、手拍子や指揮のまねなどの身体表現によって4拍子のリズムを感じ取りながら拍の流れを感じ取ったり、旋律の特徴を感じ取ったりして歌い方を工夫する学習を行ってきた。

また、音楽を形づくっている要素に気付く学習としては、比較聴取や旋律線を描き旋律の動きを見る学習、階名を読む学習、歌詞からわかることなど、楽譜の情報から気付く活動を徐々に繰り返している。

音楽表現を試す活動としては、演奏から感じ取ったことや楽譜などから気付いたことをもとに言葉で交流し、それを音や音楽で表したり、音や音楽で表現したことを言葉で交流し共有したりする学習場面をできるだけ多くもつようにしてきたが、十分とは言えない。

（2）本時の指導について

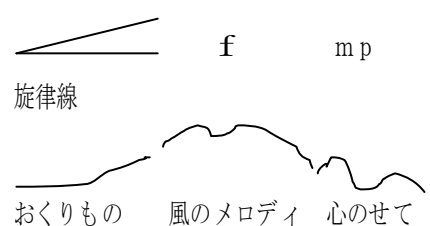

- ① 強弱の工夫については、既習曲「歌のにじ」の旋律の動きを生かした強弱の工夫の学習を活用し、旋律の動きを旋律線や階名などからとらえ、工夫できるようにする。
- ② 自分が工夫したことについては、工夫している間、CDで伴奏を流し、楽譜上で確かめるだけでなく、音や音楽で常に試したり確かめたりできるようにする。
- ③ 工夫した考えを交流する場面では、言葉などで共有したものを音や音楽で確かめたり試したりし、音や音楽でも共有できるようにする。
- ④ 8分の6拍子の指揮をしながら歌うことで、旋律の動きだけで考えた強弱の表現を、8分の6拍子にのって歌うよさを感じ取りながら歌うことができるようにする。

【目標】

8分の6拍子の特徴と旋律の動きをかかわらせながら強弱を工夫し、思いや意図をもつ。

【展開】

	ねらい・学習活動	評価規準	◎留意事項 ☆評価方法
導入 10	1 始めの音楽 (5分) (1) 「歌のにじ」を歌う。 2 学習課題の把握 (5分) (1) 学習内容を把握する。 ・「風のメロディ」の主旋律を歌う。(1番) (2) 課題の把握 ・「風のメロディ」で今日どんな勉強をしたか話し合う。		◎ 旋律線を見たりハンドサインをしながら歌ったりして旋律の動きに合わせた強弱の変化を感じ取って歌う。 ◎ 8分の6拍子がどんな拍子だったかを想起し、指揮のまねをしたり手や体を動かしたりしながら、拍の流れにのって歌う。 ◎ 既習曲「あわてんぼうの歌」の学習で2拍子のリズムにのって歌ったり強弱をつけて歌ったしたりことや「歌のにじ」では旋律の動きに合わせて強弱を工夫する学習を行ったことを想起し、「風のメロディ」の学習でも、旋律の動きに合わせて強弱の工夫ができそうであることに気付くことができるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 8分の6拍子にのりながら、強弱の工夫をしよう。 </div>		

<p>展開 32</p>	<p>3 学習課題の解決</p> <p>(1) 強弱の工夫の仕方について、考える。(4分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「歌のにじ」で学習したように旋律の線を引けばできそう。 ・高い音を探せばできそう。 ・階名を書いてハンドサインをしながら歌えばできそう。 </div> <p>(2) 強弱を工夫する。(18分)</p> <p>① 「風のメロディ」の強弱を自分で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律線を引いて考える。 ・ 音の高いところを探す。 ・ 階名を手がかりにハンドサインを使って考える。 ・ 歌いながら考える。 <p>② 強弱の工夫について交流しながら、歌って試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一番盛り上げたいところを考える。(4フレーズ目) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈4フレーズ〉</p> <p>3フレーズ後半から4フレーズにかけて大きく盛り上がり、すてきなおくりものが届き気持ちも盛り上がるように</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弱く表現したいところを考える。 <p>〈回答例〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈2フレーズ〉</p> <p>やさしく静かなかぜのように 押し寄せては返すように</p> <p>指揮 旋律線</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 似ている旋律を比較する。 ・ 違う旋律を比較する。 <p>(もし1フレーズ目と3フレーズ目が全く同じ旋律だったら・・・比較する。)</p> <p>(3) 8分の6拍子にのって強弱の工夫を生かして歌ってみる。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8分の6拍子の指揮のまねをしながら、工夫した強弱を生かして歌ってみる。 	<p>◎ 既習曲「歌のにじ」を想起することで、旋律の動きをもとに強弱が工夫できそうなことに気付くことができるようにする。</p> <p>◎ 工夫できずに困っている子どもには、旋律線を書くように声をかけ、旋律の動きが高くなっているところを探することができるようにする。</p> <p>◎ 強弱の工夫をしている間、CDで伴奏を流し楽譜だけでなく音楽で考えることができるようにする。</p> <p>◎ 旋律の動きから視覚的にとらえやすい、一番盛り上げたい部分から考えていくことで、旋律の動きをもとに強弱を工夫すればよいことに気付くことができるようにする。</p> <p>◎ 4フレーズ目の中でも特に強くしたいところとそうではないところを考えることにより旋律の動きに細かく目を向け、より繊細な音楽表現につなげることができるようにする。</p> <p>◎ 盛り上げたいところ、弱くしたいところ、似ている旋律の順で考えることにより、曲全体の強弱表現を整理しながらとらえることができるようにする。</p> <p>◎ 指揮をしながら強弱をつけて歌ってみることで、8分の6拍子の特徴である大きく2拍子にゆれる感じを感じ取りながら強弱を生かして歌うよさを感じ取ることができるようにする。</p>
------------------	--	---

観点2ー①

	<ul style="list-style-type: none"> 旋律の動きから考えた強弱の工夫を8分の6拍子にのせて表現してみることでどのように変化したかを発表し、8分の6拍子と強弱表現をかかわらせるよさを感じ取る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 8分の6拍子の指揮をしながら歌うと、ゆれる感じが出て、風が強く吹いたり弱く（やさしく）吹いたりする感じがした。 </div>		<p>☆ 8分の6拍子の特徴と旋律の動きをかかわらせて、強弱の表現を工夫し、自分の思いや意図をもっている。</p> <p>(活動中の発言や演奏の聴取)</p>
終末 3	<p>4 本時のまとめ</p> <p>(1) まとめの演奏をする。(2分)</p> <p>(2) 次時学習内容を把握する。(1分)</p>		<p>○ 本時の学習を振り返り、指揮者をたて、8分の6拍子を感じ取りながら旋律の動きにともなう強弱の変化をつけて全員で歌う。</p>

評価規準	十分満足 (A)	努力を要する児童への支援 (C)	評価方法
<p>【観点2】</p> <p>8分の6拍子の特徴と旋律の動きをかかわらせて、強弱表現を工夫し、自分の思いや意図をもっている。</p>	<p>8分の6拍子の特徴と旋律の動きについて楽譜と表現をかかわらせながら言葉や歌で伝えるなど、強弱表現を工夫し、思いや意図をもっている。</p>	<p>旋律の動きの高いところをとらえさせることで、曲の山を見つけることで強弱の工夫ができるようにし、その後の指揮の活動で8分の6拍子と強弱のかかわりを友達の考えから結び付けることができるようにする。</p>	<p>発言内容、演奏の聴取</p>